

# 平成30年度 事業報告

平成30年度、国においては、がん対策基本法の一部改正を踏まえ、がん対策を総合的・計画的に推進するために必要な事項を内容とする第3期がん対策推進基本計画の策定や第3期特定健康診査・特定保健指導の一部改正等が行われた。

山梨県では、健康増進計画「健やか山梨21(第2次)」の目標として「健康寿命の延伸と市町村間の健康格差の縮小の実現」を掲げ取り組んでいる。また、新たに「山梨県がん対策推進計画(第3次)」を策定し「がん患者を含めた県民が、がんを知り、がんの克服を目指す」ことを目標としている。

当事業団は、これらの重要施策に貢献するため、健康増進法等関係法令に基づく健診・検査事業、公衆衛生に関する知識の普及・啓発事業を実施し、その実施にあたっては、市町村等の顧客ニーズに応え、より効果的な運営に努めた事業を推進した。

健診・検査事業では、平成30年度から開始された「第3期特定健康診査・特定保健指導」に対応して健診を円滑に行うために、新規項目や判定基準等に対応した電算システム改修と健診に係わる問診票、結果報告書等の帳票の変更を行った。

普及啓発事業では、がん、結核予防街頭キャンペーン、健康に関する講演会の開催、ラジオ、新聞などの媒体等を活用した検診の受診率向上などの普及啓発を継続して行ったほか、県主催の各種イベント等に積極的に参加したことや3年目となる「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018甲府」にも参画し、県民のがん予防や生活習慣病予防等への関心を高め、健康に関する意識向上に寄与する事業を推進した。

## I 健診・検査事業

高齢化の急速な進展に伴い疾病構造も変化し、疾病全体に占めるがんなど悪性疾患や生活習慣病である高血圧症、糖尿病、脂質異常症等の疾病が増加し、これらの疾病が医療費に占める割合は約3分1となっている。

国のがん対策推進基本計画、特定健診等実施計画や県の健康増進計画で掲げる目標等に、県や市町村等一丸となって達成に向けて取り組んでいる。

事業団は公益財団法人として、各自治体、医師会等と連携する中で、県民の健康管理及び健康増進を目指し、感染症法、学校保健安全法、健康増進法、労働安全衛生法及び高齢者の医療の確保に関する法律などに基づき、事業所従業員、地域住民及び児童・生徒等を対象に、定期健康診断の他、生活習慣予防健診、特定健診などを、出張健診として、県内各地に所在する市町村、事業所及び学校他を対象に総合的に実施するとともに、県民から一層信頼を得る機関として、より精度の高い健診・検査事業の推進に努めた。

### 1 特定健康診査・特定保健指導

平成30年度より、第3期特定健康診査・特定保健指導がスタートし、特定健康診査では、基本項目の血中脂質・血糖検査の変更、詳細項目に血清クレアチニン検査の追加、心電図・眼底検査の該当基準が変更され、問診項目に歯の状態に関する質問が追加された。追加された血清クレアチニン検査では、糖尿病性腎症の重症化予防を推進するため、eGFRによる腎機能評価が含まれており、県の慢性腎臓病対策としてのCKD判定とともに受託市町村に報告を行った。特定保健指導においては、6か月の継続的支援に加え3か月の短縮実施を追加するなど運用の見直しが行われた。

## (1) 特定健康診査

高齢者の医療確保に関する法律に基づく特定健診等を各医療保険者(市町村国保、被用者保険)及び広域連合を実施主体とする県下 11 市町村より委託を受け、40 歳から 74 歳を対象とした特定健診 9,768 人、75 歳以上の後期高齢者の健診 3,252 人、39 歳以下の若年者の健診 830 人合せて 13,850 人の一般住民の健診を実施し、前年度と比較して 40 人増加した。

メタボリックシンドローム判定結果の内訳は、基準該当 1,577 人(11.38%)、予備群該当 1,117 人(8.06%)、非該当 10,216 人(73.76%)、判定不能 940 人(6.78%)であった。

### 【特定健康診査等 ①メタボリック判定】

	市町村数	受診者数	メタボリック判定							
			基準該当		予備群該当		非該当		判定不能 (項目不足)	
平成 26 年度	12	14,935	1,388	9.29%	1,346	9.01%	11,300	75.66%	901	6.03%
平成 27 年度	12	14,416	1,393	9.66%	1,070	7.42%	11,022	76.46%	931	6.46%
平成 28 年度	11	13,904	1,334	9.59%	1,072	7.71%	10,559	75.94%	939	6.75%
平成 29 年度	11	13,810	1,378	9.98%	1,061	7.68%	10,439	75.59%	932	6.75%
平成 30 年度	11	13,850	1,577	11.38%	1,117	8.06%	10,216	73.76%	940	6.78%
比較増減	0	40	199	—	56	—	▲223	—	8	—

### 【特定健康診査等 ②階層化判定】

	市町村数	受診者数	階層化(保健指導レベル)判定							
			積極的支援		動機づけ支援		情報提供		判定不能 (項目不足)	
平成 25 年度	12	10,198	233	2.28%	736	7.22%	9,221	90.42%	8	0.08%
平成 26 年度	12	10,892	224	2.06%	805	7.39%	9,863	90.55%	0	—
平成 27 年度	12	10,447	213	2.04%	673	6.44%	9,561	91.52%	0	—
平成 28 年度	11	10,806	324	3.00%	766	7.09%	9,716	89.91%	0	—
平成 29 年度	11	10,631	292	2.75%	673	6.33%	9,665	90.91%	1	0.01%
平成 30 年度	11	10,598	305	2.88%	773	7.29%	9,520	89.83%	0	—
比較増減	0	▲33	13	—	100	—	▲145	—	▲1	—

## (2) 特定保健指導

特定健診を実施した 11 市町村のうち 5 市町から特定保健指導を受託し、積極的支援 37 人、動機づけ支援 143 人の指導を実施した。

(平成 30 年度の特定保健指導は令和元年 7 月下旬まで継続中)

### 【特定保健指導実施状況】

	積極的支援					動機づけ支援				
	H26	H27	H28	H29	H30	H26	H27	H28	H29	H30
上野原市	18	5	3	5	8	46	32	41	43	104
都留市	27	24	26	16	13	—	—	—	—	—
富士川町	11	10	10	7	8	—	—	—	—	—
富士河口湖町	1	6	8	3	3	15	10	8	16	39
南部町	8	2	8	5	5	—	—	—	—	—
合計	65	47	55	36	37	61	44	49	59	143

※ 人数は、初回面接終了者数を計上

### 【特定保健指導結果】

平成 29 年度の実績で、最終評価終了者 90 人中メタボ脱出者は、15 人(16.67%)であった。

平成 29 年度（市町村合計）

	積極的支援			動機づけ支援			合 計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
初回面接終了者	27	9	36	36	23	59	63	32	95
途中終了者	4	1	5	0	0	0	4	1	5
最終評価終了者	23	8	31	36	23	59	59	31	90
メタボ脱出者	4	3	7	3	5	8	7	8	15
内服開始者	0	1	1	3	2	5	3	3	6

※ メタボ脱出者：最終評価時、腹囲・BMI ともメタボリックシンドローム判定基準以下を達成した者

※ 内服開始者：最終評価終了者中、支援期間内に高血圧・糖尿病・脂質異常症の内服を開始した者

## 2 各種がん検診等

各種がん検診等では、前立腺がん検診とファイブロシキャン検診で受診者数が微増したものの、その他の検診で減少となった。

減少幅が顕著となったのは、バリウムによる X 線検査の胃がん検診で、平成 28 年度から胃内視鏡検査が対策型検診に加わったことや、日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会作成の「胃 X 線検診安全基準」に基づき、撮影台からの転落、バリウムの誤嚥、検査後の体調不良等の防止を考慮し、関連性のある疾患、既往歴等を有する者や高齢者等について安全性を優先させ、受診制限を行ったことも影響した。

### (1) 胃がん検診

県下 16 市町村の住民 6,825 人、県職員、県教職員及び事業所職員等 3,102 人合せて 9,927 人の検診を実施し、前年度と比較して 816 人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は 938 人、要精検率 9.45%であった。

追跡調査の結果精密検査を受診した者は 723 人、精検受診率 77.08%で、精密検査結果は、がん発見数 8 人(発見率 0.081%)であった。

### 【胃がん検診実施状況】

(平成 31 年 3 月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
									平成 26 年度
平成 27 年度	17	13,916	1,221	8.77%	891	72.97%	9	0.065%	
平成 28 年度	16	13,372	1,012	7.57%	744	73.52%	11	0.082%	
平成 29 年度	16	10,743	854	7.95%	650	76.11%	5	0.047%	
平成 30 年度	16	9,927	938	9.45%	723	77.08%	8	0.081%	
内 訳	市町村	16	6,825	694	10.17%	574	82.71%	6	0.088%
	職域等	—	3,102	244	7.87%	149	61.07%	2	0.064%
比較増減	0	▲816	84	—	73	—	3	—	

【精検結果内訳（がんを除く）】

（平成 31 年 3 月末 現在）

	ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	その他疾患	異常認めず
平成 26 年度	202	95	9	601	135
平成 27 年度	179	74	4	516	109
平成 28 年度	160	47	5	410	106
平成 29 年度	127	46	3	383	83
平成 30 年度	131	31	1	349	59

(2) 肺がん検診

県下 11 市町村の住民 14,415 人、県職員、県教職員及び市町村教職員等 3,669 人、合せて 18,084 人の検診を実施し、前年度と比較して 214 人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は 318 人、要精検率 1.76%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 266 人、精検受診率 83.65%で、精密検査結果は、がん発見数 12 人（発見率 0.066%）であった。

また、喫煙者（喫煙指数 600 以上）等を対象とした喀痰細胞診は、住民、職域合わせて 262 人が受診し、精密検査を要する者はなかった。

【胸部検診実施状況】

（平成 31 年 3 月末 現在）

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
平成 26 年度	13	23,689	591	2.49%	447	75.63%	10	0.042%	
平成 27 年度	12	19,398	499	2.57%	392	78.56%	8	0.041%	
平成 28 年度	11	18,519	365	1.97%	294	80.55%	11	0.059%	
平成 29 年度	11	18,298	357	1.95%	280	78.43%	12	0.066%	
平成 30 年度	11	18,084	318	1.76%	266	83.65%	12	0.066%	
内訳	市町村	11	14,415	287	1.99%	241	83.97%	10	0.069%
	職域等	—	3,669	31	0.84%	25	80.65%	2	0.055%
比較増減	0	▲214	▲39	—	▲14	—	0	—	

【肺がん喀痰細胞診実施状況】

（平成 31 年 3 月末 現在）

	市町村数	受診者数 (検体数)	判定不能 (検体不良)	異常認めず	要精検者数	精検受診者数	がん発見数	がん発見率
平成 26 年度	11	320	9	310	1	1	1	0.313%
平成 27 年度	11	324	9	315	0	—	—	—
平成 28 年度	8	299	4	295	0	—	—	—
平成 29 年度	9	305	10	294	1	1	1	0.328%
平成 30 年度	9	262	5	257	0	—	—	—
内訳	市町村	9	206	3	203	0	—	—
	職域等	—	56	2	54	0	—	—
比較増減	0	▲43	▲5	▲37	▲1	▲1	—	—

### (3) 大腸がん検診

県下 11 市町村の住民 11,688 人、県職員、県教職員及び事業所職員等 5,477 人合わせて 17,165 人の検診を実施し、前年度と比較して 113 人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は 783 人で要精検率 4.56%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 497 人、精検受診率は 63.47%で、精密検査結果の内訳では、がん発見数 18 人(発見率 0.105%)であった。

#### 【大腸がん検診実施状況】

(平成 31 年 3 月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
平成 26 年度	12	17,823	973	5.46%	505	51.90%	11	0.062%	
平成 27 年度	12	17,761	929	5.23%	552	59.42%	14	0.079%	
平成 28 年度	11	16,918	803	4.75%	450	56.04%	20	0.118%	
平成 29 年度	11	17,278	861	4.98%	504	58.54%	16	0.093%	
平成 30 年度	11	17,165	783	4.56%	497	63.47%	18	0.105%	
内 訳	市町村	11	11,688	551	4.71%	416	75.50%	17	0.145%
	職域等	—	5,477	232	4.24%	81	34.91%	1	0.018%
比較増減	0	▲113	▲783	—	▲783	—	2	—	

#### 【精検結果内訳（がんを除く）】

(平成 31 年 3 月末 現在)

	大腸ポリープ	大腸憩室	痔核・裂肛	その他	異常認めず
平成 25 年度	225	61	35	30	164
平成 26 年度	239	52	36	36	131
平成 27 年度	223	67	46	44	160
平成 28 年度	209	32	36	23	122
平成 29 年度	224	58	33	23	139
平成 30 年度	238	48	38	17	116

#### (4) 乳がん検診

県下 14 市町村の住民 10,010 人、県教職員及び事業所職員等 753 人、合せて 10,763 人の検診を実施し、前年度と比較して 900 人減少した。受診者のうち無料クーポン対象者は 613 人であった。

受診者のうち、精密検査を要する者 328 人で要精検率 3.10%であった。

追跡調査の結果、精密検査受診者は 280 人、精検受診率は 85.37%で、精密検査結果は、がん発見数 24 人(発見率 0.223%)であった。

検診内訳は、マンモグラフィのみ 8,394 人、乳腺超音波検査のみ 2,310 人、マンモグラフィ・超音波検査併用 59 人で、平成 30 年度より医師による視触診を実施する主体はなくなっている。

#### 【乳がん検診実施状況】

(平成 31 年 3 月末 現在)

		市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率
平成 26 年度		15	11,266	399	3.54%	305	76.44%	8	0.071%
平成 27 年度		15	11,421	402	3.52%	333	82.84%	19	0.166%
平成 28 年度		14	12,078	399	3.30%	337	84.46%	23	0.190%
平成 29 年度		14	11,663	371	3.18%	309	83.29%	15	0.129%
平成 30 年度		14	10,763	328	3.05%	280	85.37%	24	0.223%
内 訳	市町村	14	10,010	310	3.10%	270	87.10%	24	0.240%
	職域等	—	753	18	2.39%	10	55.56%	0	—
比較増減		0	▲900	▲43	—	▲29	—	9	—

#### 【精検結果内訳（がんを除く）】

(平成 31 年 3 月末 現在)

	乳腺症	線維腺腫	乳腺のう胞	その他	異常認めず
平成 26 年度	43	27	50	46	131
平成 27 年度	48	39	49	48	130
平成 28 年度	42	32	45	65	150
平成 29 年度	47	44	41	25	132
平成 30 年度	35	21	42	61	117

#### 【実施方法別】

(平成 31 年 3 月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率
マンモグラフィ	8,394	286	3.41%	249	87.06%	22	0.262%
乳腺超音波	2,310	40	1.73%	29	72.50%	2	0.087%
マンモ・超音波	59	2	3.39%	2	100.00%	0	—

## (5) 子宮頸がん検診

子宮頸がん検診を事業団施設にて、協会けんぽ対象事業所健診及びレディース健診として実施した。

受診者 134 人で、前年度と比較して 7 人減少した。精密検査を要する者はいなかった。

### 【子宮頸がん検診実施状況】

(平成 31 年 3 月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数
平成 26 年度	186	0	—	—
平成 27 年度	174	0	—	—
平成 28 年度	137	0	—	—
平成 29 年度	141	0	—	—
平成 30 年度	134	0	—	—
比較増減	▲7	0	—	—

## (6) 腹部超音波検診

上腹部臓器の肝臓、胆のう、膵臓、腎臓、脾臓を検査し、16 市町村の住民 18,466 人、事業所職員等 925 人合せて 19,391 人の検診を実施し、前年度と比較して 104 人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は 689 人で、要精検率 3.55%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 510 人、精検受診率は 74.02%で、精密検査の結果発見されたがんは、肝臓 5 人、腎臓 1 人、膵臓 1 人の合計 8 人(発見率 0.041%)であった。

### 【腹部超音波検診実施状況】

(平成 31 年 3 月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率
平成 26 年度	17	22,317	926	4.15%	634	68.47%
平成 27 年度	17	22,172	675	3.04%	432	64.00%
平成 28 年度	16	22,452	754	3.36%	504	66.84%
平成 29 年度	16	19,495	591	3.03%	425	71.91%
平成 30 年度	16	19,391	689	3.55%	510	74.02%
内 訳	市町村	18,466	661	3.58%	501	75.79%
	職域等	925	28	3.03%	9	32.14%
比較増減	0	▲104	98	—	85	—

### 【臓器別がん発見数】

(平成 31 年 3 月末 現在)

	肝臓	胆のう	腎臓	膵臓	その他	計	がん発見率
平成 26 年度	3	0	2	0	0	5	0.022%
平成 27 年度	4	0	0	0	1	5	0.023%
平成 28 年度	7	1	1	3	2	14	0.062%
平成 29 年度	9	1	0	0	0	10	0.051%
平成 30 年度	5	0	1	1	1	8	0.041%

【臓器別疾患数】

(平成 31 年 3 月末 現在)

	肝臓	胆のう	腎臓	膵臓	脾臓	その他	異常なし
平成 26 年度	158	124	56	103	1	45	85
平成 27 年度	110	87	30	81	0	31	64
平成 28 年度	145	92	27	94	2	45	48
平成 29 年度	111	54	33	95	1	20	59
平成 30 年度	108	81	38	113	2	27	95

(7) 前立腺がん検診 (血液 PSA 検査)

県下 9 市町村の住民 3,461 人、事業所職員等 431 人、合わせて 3,892 人実施し、前年度と比較して 89 人増加した。受診者のうち精密検査を要する者は 287 人で要精検率 7.37%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 193 人、精検受診率は 67.25%で、精密検査結果の内訳は、がん発見数 17 人(発見率 0.437%)でがん疑いの者 66 人であった。

【前立腺がん検診実施状況】

(平成 31 年 3 月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	前立腺がん疑い	
平成 26 年度	10	4,015	229	5.70%	128	55.90%	9	0.224%	49	
平成 27 年度	10	3,864	216	5.59%	120	55.56%	16	0.414%	44	
平成 28 年度	9	3,773	256	6.79%	159	62.11%	13	0.345%	66	
平成 29 年度	9	3,803	290	7.63%	192	66.21%	16	0.421%	71	
平成 30 年度	9	3,892	287	7.37%	193	67.25%	17	0.437%	66	
内訳	市町村	9	3,461	270	7.80%	190	70.37%	17	0.491%	65
	職域等	—	431	17	3.94%	3	17.65%	0	—	1
比較増減	0	89	▲3	—	1	—	1	—	▲5	

【精検結果内訳・がん以外】

(平成 31 年 3 月末 現在)

	前立腺肥大	その他	異常認めず
平成 26 年度	35	12	23
平成 27 年度	27	12	21
平成 28 年度	31	7	27
平成 29 年度	59	7	32
平成 30 年度	62	2	31



## (8) フィブロスキャン検診

平成 30 年度は、早川町、富士川町、道志村、富士河口湖町の 4 町村で実施し、住民 151 人の検診を実施し、前年度と比較して 32 人増加した。

受診者のうち肝硬度値判定による要精検者は 7 人、肝脂肪量判定の要精検者は 34 人であった。

### 【フィブロスキャン検診実施状況】

	市町村数	受診者数	肝硬度値判定				肝脂肪量 (CAP) 判定			
			異常認めず	要観察	要精検	判定不能	異常認めず	要観察	要精検	判定不能
平成 26 年度	4	313	232	67	14	0	93	154	65	1
平成 27 年度	4	242	177	54	11	0	60	126	53	3
平成 28 年度	4	218	160	45	12	1	55	119	43	1
平成 29 年度	4	119	77	34	7	1	28	71	18	2
平成 30 年度	4	151	106	36	7	2	30	85	34	2
比較増減	0	32	29	2	0	1	2	14	16	0

## (9) 結核検診

市町村住民、事業所職員及び高校・大学生等、合せて 40,109 人の検診を実施し、前年度と比較して 701 人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は 1,687 人、要精検率 4.21%であった。追跡調査の結果、結核患者の発見はなかった。

### 【結核検診実施状況】

(平成 31 年 3 月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	結核患者数	その他疾患	異常認めず
平成 26 年度	45,473	1,511	3.32%	1,058	70.02%	0	690	368
平成 27 年度	41,480	1,060	2.56%	682	64.34%	0	582	100
平成 28 年度	40,330	1,289	3.20%	694	53.84%	0	618	76
平成 29 年度	40,810	1,619	3.97%	803	49.60%	2	670	131
平成 30 年度	40,109	1,687	4.21%	1,211	71.78%	0	806	390
比較増減	▲701	68	—	408	—	▲2	136	259

### 3 職域健診

労働安全衛生法及び学校保健安全法に基づき市町村職員・教職員、県職員・教職員、大学(健康科学大学、県立大学、甲府看護専門学校等)、民間企業等を合わせて17,727人の健診を実施し、新規2事業所の獲得や小規模事業所を集約した健診での新規取込などにより、前年度と比較して39人増加した。

#### 【職域健診実施状況】

	市町村教職員	市町村職員	県教職員	県職員	大学・ 専門学校	民間企業等	合 計
平成26年度	1,575	443	2,044	2,533	2,836	6,824	16,255
平成27年度	1,582	437	2,093	2,526	2,825	7,077	16,540
平成28年度	1,580	497	2,051	2,483	2,833	7,337	16,781
平成29年度	1,614	517	1,992	2,447	2,922	8,196	17,688
平成30年度	1,676	481	1,941	2,423	2,878	8,328	17,727
比較増減	62	▲36	▲51	▲27	▲44	132	39

### 4 学校保健安全法に基づく検診検査

#### (1) 心臓検診

県立学校、市町村小・中学校等の児童、生徒の心電図検査9,108人、心音図検査29人を実施した。平成30年度より、上野原市において小・中学校の全学年に実施していた心電図検査が、小学校1年、4年、中学校1年を対象となり、小学1年、中学1年に実施していた心音図検査が未実施となったため、前年度と比較して、心電図検査で1,448人、心音図検査では328人と大幅に減少した。

心電図検査の要精検者数は633人、要精検率6.95%で、心音図検査の要精検者数は3人、要精検率10.34%であった。

#### 【心電図・心音図検査実施状況】

	心 電 図 検 査			心 音 図 検 査		
	受診者数	要精検者数	要精検率	受診者数	要精検者数	要精検率
平成26年度	11,294	515	4.56%	416	22	5.29%
平成27年度	11,074	578	5.22%	377	21	5.57%
平成28年度	10,706	633	5.91%	344	8	2.33%
平成29年度	10,556	833	7.89%	357	20	5.60%
平成30年度	9,108	633	6.95%	29	3	10.34%
比較増減	▲1,448	▲200	—	▲328	▲17	—

## (2) 寄生虫卵検査

県立学校、市町村小学校の児童、保育園等の幼児、職員合わせて5,677人の検査を実施し、前年度と比較して274人減少した。

寄生虫卵検査の保卵者数は2人、保卵率は0.035%であった。

### 【寄生虫卵検査実施状況】

	受検者数	保卵者	寄生虫卵内訳		保卵率
			蛭虫	その他	
平成26年度	41,519	7	7	0	0.017%
平成27年度	40,418	2	2	0	0.005%
平成28年度	12,728	4	4	0	0.031%
平成29年度	5,951	1	1	0	0.017%
平成30年度	5,677	2	2	0	0.035%
比較増減	▲274	1	1	0	—

## (3) 尿検査

県立学校、市町村小・中学校等の児童、生徒及び保育園の幼児等42,829人の検査を実施した。少子化等の影響により、前年度と比較して711人減少した。

1次検査の陽性者1,021人(陽性率2.38%)のうち、2次検査を864人検査し、陽性者は202人(陽性率23.38%)であった。

### 【尿検査実施状況】

	第1次検査			第2次検査		
	受診者数	陽性者数	陽性率	受診者数	陽性者数	陽性率
平成26年度	45,622	1,116	2.45%	1,005	228	22.69%
平成27年度	45,067	1,073	2.38%	959	236	24.61%
平成28年度	43,866	1,048	2.39%	915	238	26.01%
平成29年度	43,540	989	2.27%	836	200	23.92%
平成30年度	42,829	1,021	2.38%	864	202	23.38%
比較増減	▲711	32	—	28	2	—

	第1次検査 陽性者内訳				第2次検査 陽性者内訳			
	糖	蛋白	潜血	蛋白・潜血	糖	蛋白	潜血	蛋白・潜血
平成25年度	45	267	769	26	12	47	153	11
平成26年度	35	330	715	36	11	74	127	16
平成27年度	25	270	745	33	11	60	148	17
平成28年度	45	269	687	49	18	52	157	15
平成29年度	28	219	717	28	5	32	151	13
平成30年度	28	234	700	41	7	27	144	14

#### (4) 血液貧血検査

市町村中学校生徒 392 人の検査を実施し、前年度に比較して 26 人増加した。  
軽度異常者は 17 人(軽度異常率 4.34%)、要精検者は 11 人(要精検率 2.81%)であった。

##### 【貧血検査実施状況】

	受診者数	軽度異常者	軽度異常率	要精検者数	要精検率
平成 25 年度	1,452	44	3.03%	3	0.21%
平成 26 年度	1,440	60	4.17%	3	0.21%
平成 27 年度	461	19	4.12%	0	—
平成 28 年度	460	20	4.35%	4	0.87%
平成 29 年度	366	25	6.83%	5	1.37%
平成 30 年度	392	17	4.34%	11	2.81%
比較増減	26	▲8	—	6	—

## Ⅱ がん対策

山梨県において昭和58年から「がん」は死亡原因の第1位であり、全死亡者の3分の1を占めており、日本人の2人に1人ががんに罹り3人に1人ががんで死亡すると言われている。県は、平成24年4月から「山梨県がん対策推進条例」を施行し、「がん」の総合的な対策を推進している。これに呼応して、健康管理事業団は県からの委託を受け「がん患者サポートセンター」の運営のほか、さまざまながん対策を行っている。

また、事業団は日本対がん協会山梨県支部を兼ねており、9月のがん征圧月間中にはがん予防、がん検診の普及啓発などを集中的に展開した。

さらに、県や関係機関主催の行事に幅広く参加し、がん検診受診率向上に向けた啓発活動を積極的に行った。

### 1 がん相談

「がん患者サポートセンター」は医師の面接（要予約・不定期）や毎週火曜日に保健師、ピアサポーターの面接及び電話によるがん患者の相談に加え、新たに毎月第3火曜日に社労士による就労にかかわる相談を設け、がん患者やその家族の不安や悩みの解消に努めた。

医師相談	4件
保健師相談	45件
社労士相談	7件
ピアサポーター相談	27件

### 2 リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018甲府

8月31日（金）午後3時～9月1日（土）午後0時に山梨県立大学池田キャンパスにおいて、24時間夜通しで行うリレーウォーク等によるチャリティーイベントを県立大学と共催で開催し、第3回目を迎えた。

開催経費を除いた募金、参加費、広告料等は全額（公財）日本対がん協会に寄付され、寄付金は「がん患者や家族の支援」とがん新薬開発等の研究助成、若手医師の育成、がん検診率向上のための啓発活動等「がん征圧」のために使われる。

主 催	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018甲府実行委員会 公益財団法人日本対がん協会	
参加者	600名	
募金額	2,110,823円	

### 3 受診率向上のための普及啓発活動

#### ・がん征圧月間街頭キャンペーン

9月10日（月） 甲府駅南口周辺 参加者スタッフ 30名

#### ・いきいき山梨ねりんピック

9月29日（土） 小瀬スポーツ公園 参加者スタッフ 4名

#### ・「検査と健康展」乳がん予防啓発キャンペーン

11月 3日（土） ラザウォーク 参加者スタッフ 1名

#### ・県民の日記念行事

11月10日（土） 小瀬スポーツ公園 参加者スタッフ 15名  
11日（日）

### Ⅲ 普及啓発活動

#### 1 がん征圧月間のがん予防知識普及啓発

例年全国的に行われる9月のがん征圧月間行事として、がん予防に関する知識の普及啓発を図るラジオCM放送と新聞広告の掲載をするとともに、9月10日に甲府駅南口周辺において、県と県がん検診受診率向上プロジェクト企業5社、がん患者サポートセンターでがん相談にあたっているがん経験者等の協力のもと、がん検診啓発のチラシ付フィルターコーヒを配布し、がん征圧月間の周知とがん検診受診に向けた街頭キャンペーンを展開した。

そのほか、県下全市町村、医療機関、関係機関等にごがん予防知識啓発用ポスター及び禁煙ポスターを配布した。

#### 2 結核予防街頭キャンペーンの実施

結核予防週間（9月24日～30日）中に、全国一斉に展開される結核予防運動キャンペーンに併せ、本県においても県民の結核への関心を高めるとともに、結核予防に関する知識の普及啓発を図るため、9月25日に、JR甲府駅南口周辺において、県及び婦人団体の協力のもと、結核予防普及啓発用資材、「STOP結核！」のロゴ入りポケットティッシュ及び結核予防週間広報用カットバンの配布などによる結核予防街頭キャンペーンを実施した。

#### 3 講演会の開催

「健康寿命と腸内細菌」  
をテーマに くぼた内科胃腸科医院 院長 窪田良彦 先生による講演会を開催した。

近年、注目を集めている大腸をすみかとした「腸内細菌」が、人の健康に様々な影響を与えていることについて理解を深めるとともに、豊かで健やかな日常生活を送るために、「腸内細菌」に関する正しい知識や情報を知り、健康寿命の延伸を目指す機会とした。

また、山梨県医師会 理事 飯塚秀彦 先生による「かかりつけ医を持ちましょう」の講演も同時に行った。

3月14日（木） 山梨県立図書館 1F イベントスペース

出席者 114名

#### 4 各種イベントへの参加

県や関係機関が主催するイベントに積極的に参加し、簡易健康診断、結核・生活習慣病予防などに関するパネル展示及び各種パンフレットの配布などを次のとおり実施し、県民の健康づくりに対する意識の高揚に努めるとともに、事業団のPRを行った。

(1) 平成30年9月29日（土）

○ いきいき山梨ねんりんピック実行委員会主催「いきいき山梨ねんりんピック」

於 小瀬スポーツ公園

- ・結核・がん予防啓発リーフレット及び冊子、がん検診受診勧奨資材等配布
- ・複十字シール募金の展開
- ・健康教育パネルの展示

(2) 平成30年11月3日(土)

- 山梨県臨床衛生検査技師会主催「検査と健康展」 於 ラザウオーク
  - ・乳がん視触診モデルを使用した触診法の指導
  - ・乳がん自己触診法リーフレット、乳がん予防冊子、がん患者サポートセンターパンフレット等配布

(3) 平成30年11月10・11日(土・日)

- 県主催「第33回県民の日記念行事」 於 小瀬スポーツ公園
  - ・医師、ピアサポーターによる「がん相談・健康相談」の実施
    - 1) 10日：医師相談 相談者7名(がん相談4名)
    - 2) 11日：ピアサポーター(がん経験者)相談 相談者2名(全てがん相談)
  - ・血圧、骨密度、活力年齢測定
  - ・乳がん視触診モデル体験
  - ・結核・がん予防啓発資材及び冊子、事業団パンフレット等配布
  - ・複十字シール募金の展開
  - ・健康教育パネルの展示

## 5 ホームページの活用

ホームページを活用し、事業団組織及び経営理念、事業案内による検診事業全般の内容紹介、財務諸表など広く県民に情報発信し、事業団をPRするとともに、各種がん検診、生活習慣病予防の正しい知識の普及啓発に努めた。

## 6 健康教育用資料の貸出し

がん・結核予防・生活習慣病予防ビデオ、パネル等を健康教育用資料として、市町村並びに関係各機関へ配布、貸出しを行い、がん・結核予防・生活習慣病予防に対する認識と検診の重要性について普及啓発を行った。

## 7 その他広報資料の配付

事業団広報誌「すこやかだより」を発行するとともに、結核予防会発行の「複十字」「健康の輪」、日本対がん協会発行の「対がん協会報」等を広報資料として市町村及び各関係機関等へ配布し、健康に関する知識の普及啓発に努めた。

#### IV 研修事業

- 1 当事業団は(公財)結核予防会、(公財)日本対がん協会、(公財)予防医学事業中央会のそれぞれの山梨県支部である。

各検診事業の充実を図るため、当該3団体が主催する研修会、協議会等に職員を参加させた。

	名 称	開 催 月 日	参加人員
結核 予 防 会	永年勤続職員の表彰式	5月31日	1人
	健診標準フォーマット説明会	6月15日	1人
	平成30年度関東甲信越支部ブロック会議(栃木県)	11月9日～10日	1人
	JATA災害時支援協力者研修	11月12日	1人
	平成30年度胸部画像精度管理研究会	12月20日～21日	2人
	平成30年度全国支部事務局長会議・大規模災害対策委員会	2月1日	1人
日 本 対 が ん 協 会	平成30年度全国事務局長会議	6月25日	2人
	受診者拡大研修会	7月18日	1人
	平成30年度がん征圧全国大会(千葉県)	9月13日	1人
	平成30年度関東甲信越支部連絡協議会(新潟県)	10月19日～20日	2人
	第9回乳房超音波技術講習会	2月15日～17日	1人
	第42回保健師・看護師研修会	2月28日～3月1日	1人
予 防 医 学 事 業 中 央 会	平成30年度第1回全国運営会議	7月12日	1人
	第63回予防医学事業推進全国大会・第2回全国運営会議(新潟県)	10月25日～26日	1人
	平成30年度予防医学事業推進関東甲信越地区会議(東京都)	11月21日～22日	2人
	平成30年度第53回予防医学技術研究会議(茨城県)	2月6日～7日	2人
	平成30年度全国業務研修会(島根県)	2月27日～3月1日	2人

- 2 各種検診の高度化、多様化に対応するため、各関係団体等が主催する各種学会、研修会等へ職員を参加させた。

名 称	開 催 月 日	参加人員
〈業務部・健康支援室〉 第5回国立がん研究センターたばこ政策支援部セミナー	2月21日	1人
〈健診部・検査課〉 第75回細胞検査士教育セミナー	8月25日～26日	1人
第30回日本超音波検査学会関東甲信越地方学術集会	10月27日～28日	1人
第57回日本臨床細胞学会秋期大会	11月17日～18日	1人
平成30年度日本医師会精度管理調査報告会	3月8日	1人
〈健診部・放射線課〉 平成30年度胃がんX線検診技術部門B資格検定試験	9月2日	3人
第65回デジタルマンモグラフィ品質管理講習会	3月1日～2日	1人

- 3 県内の8つの検診機関等で構成する山梨県検診実施機関連絡協議会が平成31年3月5日に開催され、事業団もこれに参画し精度管理向上に向けた諸課題に取り組んだ。



## V 会議の開催

### 1 理事会・評議員会

- (1) 平成30年4月17日 第1回「理事会」(決議省略)  
役員候補者決定等について可決承認された。
- (2) 平成30年4月26日 第1回「評議員会」(決議省略)  
役員選任等について可決承認された。
- (3) 平成30年6月6日 第2回「理事会」 於 山梨県医師会3F会議室  
平成29年度事業報告、収支決算報告、評議員の選任につきその候補者、理事の選任につきその候補者、監事選任につきその候補者、平成30年度定時評議員会の開催等について審議が行われ、可決承認された。
- (4) 平成30年6月21日 第2回「評議員会」 於 山梨県医師会3F会議室  
平成29年度事業報告、収支決算報告、評議員の選任、理事の選任、監事の選任等について審議が行われ、可決承認された。
- (5) 平成30年6月21日 第3回「理事会」(決議省略)  
理事長選定、専務理事選定、理事への使用人職務の委嘱について可決承認された。
- (6) 平成31年3月20日 第4回「理事会」 於 山梨県医師会館3F会議室  
平成31年度主要事業・課題、事業計画(案)、収支予算(案)等について審議が行われ、可決承認された。

### 2 経営評価委員会

事業団の自主的な運営体制の確立を目的とし、今後の経営状況や経営強化の実施状況について適切な評価を行うため、外部の経営専門家として医師、税理士等3名を構成メンバーとした、経営評価委員会を平成31年2月8日に開催し、事業団の経営状況、施設整備検討状況等について委員の方々から意見をいただいた。

## VI 救急医療情報センター運営業務

当センターは、平成元年4月1日から、全県ネットワークの医療情報システムの開始に伴い、県から同システムの業務委託を受けて、医師会をはじめ、医療機関並びに各市町村などの協力を得ながら、適切な医療情報の提供に努めている。平成30年度の救急案内件数は18,279件で、前年度と比較すると、県民が県の医療ネットから直接医療機関を検索する場合が増えたことの影響等により案内件数は310件減少した。

現在、24時間体制で、県民からの医療機関及び当番医の照会に対し、適切な情報提供を行う業務を実施している。

### 1 業務内容

- (1) 情報の収集業務（医療機関に設置された端末装置による応需情報の収集）
- (2) 情報の提供業務（患者の症状、発生場所に応じた適切な医療機関の情報提供）
- (3) 各種統計の作成業務

### 2 年度別案内件数

(件)

年度	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10
件数	2,561	3,693	4,446	4,618	5,405	5,905	6,358	7,585	7,133	8,186
年度	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
件数	9,465	11,292	12,940	12,267	12,900	13,844	14,905	15,384	15,109	16,145
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
件数	21,254	19,368	18,917	19,333	18,642	19,687	19,656	19,334	18,589	18,279
合 計										
383,200										

### 3 案内状況

(件)

種 別		平成29年度	平成30年度
救急医療情報センター案内件数		18,589	18,279
受付時間別案内件数	深夜（0時～8時）	2,370	2,355
	日中（8時～18時）	9,621	9,169
	準夜（18時～24時）	6,598	6,755
診療科目別案内件数	内 科	6,770	6,647
	小 児 科	2,390	2,169
	外 科	1,510	1,010
	整 形 外 科	2,588	3,003
	眼 科	977	973
	耳鼻咽喉科	1,004	890
	歯 科	986	1,079
	脳神経外科	684	717
	皮 膚 科	621	734
	産 婦 人 科	145	138
	泌 尿 器 科	178	243
	精神神経科	62	72
	そ の 他	674	604
計	18,589	18,279	